

議論のポイント

=地図にどのような情報をのせればよいですか？

- ・みなさんがバスを使って行きたいところはどこですか？
- ・バスを利用する際にどのようなことを調べていますか？
- ・バスを使うことは可能なのに利用しないのはどのような情報が不足しているからですか？
- ・場所や呼び名など地元の人が愛着を持てる名前はありませんか？
- ・作成するバスマップの活用方法で妙案はありませんか？



意見を伺い、利用しやすいバスマップを作成します。

バスマップに親しみやすい「キャッチフレーズ」をつけますか？

ワークショップにおける議論の進め方 (前回と同様です)

発言準備

- ・議論を進める前に、発言準備の時間を設けます
- ・ご意見をテーブル前の付箋紙にお書きください



討議

- ・進行役の司会で、順番に発言していただきます
- ・ご記入の付箋紙は、進行役の案内でご提出してください
- ・進行役は、発言内容を整理し、発表準備をお手伝いします



発表

- ・各テーブルの発表者1名を決め、全6テーブルで発表

ワークショップにおける議論の進め方

発言準備

- 発表しやすいようにテーブルにある付箋紙に記入してください。
- 掲載する内容は①～③の視点があります。

【バスマップの掲載内容】

- ① 掲載する施設(具体の施設名、施設種類どちらでもOK)
- ② 目印となる情報(交差点名称、通りの名称 等)
- ③ 付加情報(バス時刻表、鉄道時刻表、料金表、バス停情報、乗換情報 等)

〇〇病院

区役所

〇〇スーパー

交差点名

路線名

看板

最寄りバス停
時刻表

最寄り鉄道駅
時刻表

バス停乗り場
案内

【バスマップのキャッチフレーズ】

バスマップに親しみやすい「キャッチフレーズ」をつけませんか？

ワークショップにおける議論の進め方

議論

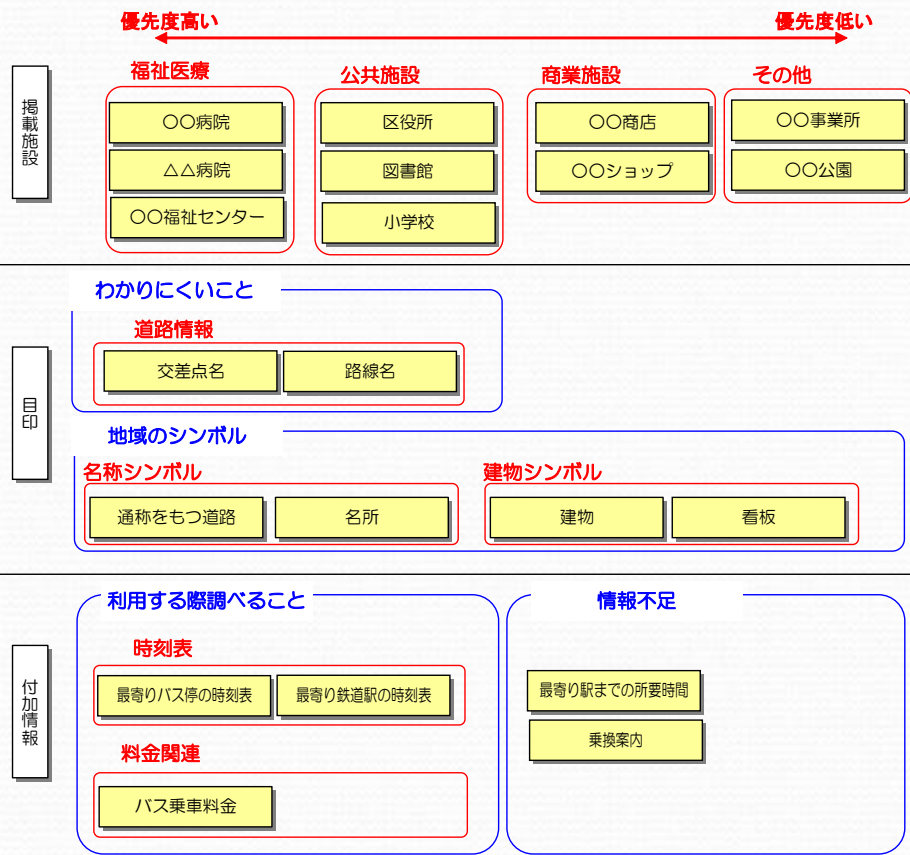
【議論】

- ・進行役の案内により、順番に付箋紙に書いた内容を説明してください。
(前回と同様です)

【発表内容の整理】

- ・進行役は、模造紙上で付箋紙を整理し、みなさんのお考えをまとめていきます。
- ・掲載内容等は、たくさん掲載するほど煩雑となりますので、優先度とともに議論させていただきます。
(右図では、左ほど掲載優先度が高い)
- ・バス利用促進に向けて必要な情報やマップを有効に活用していただくための情報を整理していきます。

【校区名 公共交通のキャッチフレーズ(第1回でのキャッチフレーズを一部改め)】



**ワークショップに
あたってのお願い**

活発な話し合いの場にするには・・・ (前回と同様です)

- 自由に意見を出し合い、あるテーマに関する多様な意見を抽出する。
- 質より量を重視し、お互いの意見に批判をせず、自由に意見を出し合うことで、周辺知識を列挙する。
- 無理にまとめようとせずに、意見が複数並んでも良い。全員の納得をめざす。

ワークショップのルール (前回と同様です)

1. 他人の発言を批判しない
2. 自由奔放な発言を歓迎する. 夢物語でもよい
3. 質より量を求める
4. 他人のアイデアに便乗する

禁句(言ってはいけないこと)

実現しない. 空想的だ. くだらない. わかりきっている. コストがかかる. 意味がない. 以前やって失敗した. など

議論内容発表（各校区5分）

～各校区で1名発表者を決めてください～

【発表順番】

黒山校区

平尾校区

美原北校区

八上校区

美原西校区

さつき野校区